

アラカルト

火

育

医療

シニア

食・エコ

旅・趣味

スタイル

| 就学前までの予防接種スケジュール | 受けられる予防接種(接種回数) | 予防接種の间隔 | 1か月 | 2か月 | 3か月 | 4か月 | 5か月 | 6~8か月 | 9~11か月 | 1歳0~2か月 | 1歳3~5か月 | 1歳6~11か月 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 |
|---------------------|-----------------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|--------|---------|---------|----------|----|----|----|----|----|
| ロタウイルス※(生後6~24週に2回) | 27日以上 | 1回目 | 2 | | | | | | | | | | | | | | |
| ヒブ(3回+1回) | 6日以上 | | 1 | 2 | 3 | | | | | 4 | | | | | | | |
| 肺炎球菌(3回+1回) | 6日以上 | | 1 | 2 | 3 | | | | | 4 | | | | | | | |
| B型肝炎(3回) | 6日以上 | | 1 | 2 | | | | 3 | | | | | | | | | |
| 3種混合(3回+1回) | 6日以上 | | 1 | 2 | | | | 3 | | | | 4 | | | | | |
| BCG(1回) | 27日以上 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| ポリオ(2回) | 27日以上 | | 1 | | | | | | | 2 | | | | | | | |
| 麻疹・風疹(Ⅰ期1回、Ⅱ期1回) | 27日以上 | | | | | | | | | 1 | | | | | | 2 | 3 |
| 水痘(水ぼうそう)(2回) | 27日以上 | | | | | | | | | 1 | | | | | | 2 | 3 |
| 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)(2回) | 27日以上 | | | | | | | | | 1 | | | | | | 2 | 3 |
| 日本脳炎(2回+1回) | 6日以上 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 |
| インフルエンザ(毎年2回) | 6日以上 | | | | | | | | | | | | | | | | |

※早ければ11月に発売され、任意接種開始
 ■ は定期接種ができる期間
 ■ は任意予防接種のできる期間
 ①~④はお勤めの接種時期

日本小児科学会が推奨するスケジュールと永田医師の助言を基に作成
 毎年(10、11月などに①、②)

0歳児から受けられる予防接種の種類が、ここ3年で増えた。インフルエンザ菌b型(ヒブ)に小児用肺炎球菌、今年の冬にはロタウイルスのワクチンも加わる。効率よく接種するにはスケジュールをどう組めばよいのだろう。広島市医師会理事で、ながたこどもクリニック(佐伯区)の永田忠医師は「医療機関とよく相談し、同時接種もうまく活用して」と話す。(森田裕美)

永田医師(広島)が助言

予防接種には原則無料の定期接種と、保護者の希望で受けられる任意接種がある。就学前までに受けられるのは、ロタウイルスのワクチンを含めると12種類。接種が2回以上のもも多く、ほとんどが0~1歳半の時期に集中。回数多さを負担に感じる保護者も多いだろう。また、生きたウイルスの毒性を弱めた「生ワクチン」は27日以上、ウイルスを殺して

予防接種 効率よい計画を

就学前までに12種類 「同時」で回数減らして

永田医師は「生後間もなくのころは病気にかなりくく体調が安定しているため、受けられる時期になったら早めに接種するようお勧めします。まずはかかりつけの医師とよく相談しましょう」と話している。

米国など海外では一般的だが、日本ではなじみが薄い同時接種。一度に何本も注射針を刺すことへの抵抗感や、副反応への不安から敬遠されるケースも多い。ただ、医学的には「同時接種は何種類まで」などの制限もなく、同時接種で効果が薄れたり副反応が増えたりはしないという。

永田医師は「回数を減らすためにも、同時接種を取り入れて」と助言する。乳幼児の激しい嘔吐・下痢の原因として頻度が高いロタウイルス胃腸炎を予防するワクチンは、注射ではなく口から飲む経口接種。生後6~24週に2回接種する。生ワクチンで初回は20週になるまでに終えなくてはならない。

それらを考慮して、スケジュールを立てても、これからの季節は子どもが風邪をひいたり熱を出したりしやすくなり、予防接種もなかなか計画通りには進まないだろう。

有効成分を残した「不活化ワクチン」は6日以上間隔を空けなくてはならない。スケジュール調整に注意が必要だ。さらに、早ければ11月にも接種が始まるロタウイルスのワクチンをどこに組み込むか。



永田忠医師